

スキーすく〜る②

12月27日(火) ~ 12月31日(土)

IN 長野県白馬村飯森地区、民宿「武田館」

	午前	午後	夜
1日目			白馬に向けて出発
2日目	白馬到着・スキー講習①	スキー講習②	振り返り
3日目	スキー講習③	スキー講習④	お楽しみ会、振り返り
4日目	スキー講習⑤	スキー講習⑥	振り返り・関西に向けて出発
5日目	関西到着・解散		

一日目： 各集合場所から京都に集まり、「こんばんは」。少し眠そうなメンバーも見られますが、元気に全員が集まりました。リーダーの紹介、グループ分けをしてからバスで白馬へ向かいます。次に起きた時には、外がどんな景色になっているか楽しみにしながら、おやすみなさい。



二日目： おはようございます。白馬に到着し、外を見ると真っ白な雪景色が広がっていました。まずはコンビニで朝ご飯を選び、三日間お世話になる“武田館”でいただきます。朝食後は、さっそくスキーウェアに着替えてゲレンテに行く準備をします。スキーウェアを着ることで、みんなのスキーへの気持ちが高まるようでした。忘れ物が無いことを確認したら、いよいよ全員でゲレンテへ出発です。目の前に広がる景色に気持ちが先走りそうになりながらも、三日間のスキーを安全に行うための注意事項を共有しました。何度も来ているメンバーも、初めてのメンバーも真剣に聞いておられる姿が印象的でした。レンタルを済ませ、【めだか】【さんま】【イルカ】の3つのクラスに分かれたら、いよいよスキー講習の始まりです。スキーが初めての【めだかクラス】では、スキーブーツの履き方、スキー板の持ち方など、基本から学んでいきます。【さんまクラス】では、人数が多かったことから、まずは細かいレベル分けから始めました。それぞれのレベルに合った場所で講習を行い、スキーの基礎を確認します。【イルカクラス】では、ゲレンテを広く使い、前回の滑りを思い出し、フォームを確認することから始めました。昼食を挟み、クラス変えを行った午後からも、それぞれのクラスで基礎の確認に励みました。午後の講習が終わる頃には、疲れも現れていたようで、一生懸命に知識や技術を吸収してこられた様子を感じました。民宿に帰ってからは、各自お風呂や荷物の整理を済ませ、美味しい夕食をいただきます。ご飯や汁物を沢山おかわりするメンバーも見られました。そして、一日の最後にはクラスごとに振り返りを行い、スキー講習で出来たこと、出来なかったこと、明日出来るようになりたいことを共有しました。クラスのリーダーやメンバーからも意見をもらい、みんな真剣に目標を考えておられました。残りの二日間に向けて、良いスタートとなった一日でした。



三日目： 三日目の朝は、しっかりと朝食を取った後、身支度をしてゲレンテへ出発です。各クラスで用意を済ませ、まずは、全員対抗でスキーの基礎を確認するためのレースを行いました。スタート地点から少し走り、自分のスキー板を探します。その場でスキー板を履いたら、目印となるリーダーが居る場所まで“カニさん歩き”で登り、そこからスタート地点まで滑りきるとゴールです。クラスごとにハンテを設けましたが、それでも【いるかクラス】のみんなは見事に上位でゴールされ、レース内でお互いに協力する様子も見られました。一方で、【さんまクラス】【めだかクラス】の中には自分の思うようにスキー板を履いたり、登ったりすることが出来ず、悔しそうな表情をされるメンバーもおられました。レース後は再びクラスに分かれ、スキー講習に取り組みました。この日の講習では、【めだかクラス】は滑って止まる力の



コントロールを練習し、リフトにも乗り始めました。【さんまクラス】は全体でレベル分けをこまめに行いながら、ターンの練習、周りを見ながら滑る練習、正しい姿勢やフォームを身につける練習などを行いました。そして、この日は【イルカクラス】の更の上、“幻のクラス”である【くじらクラス】に昇格するメンバーがおられました。新しいクラスが出現したことにより、「自分もいつかそこにいきたい!」という思いが芽生え、みんなのモチベーションに繋がったのではないかと思います。各々が、前日の振り返りで話した目標を意識しながら講習に取り組み、初日より確実に成長した一日でした。そして、夜はお待ちかねの“お楽しみ会”です。翌日のお昼ご飯を景品とする、各グループで“マリオカート”対決を行いました。スキーの真剣さとは打って変わって、全力でグループを応援するみんなの姿が印象的でした。勝ったグループも負けたグループも、恨みっこなしの楽しい時間になったと感じます。楽しんだ後でも、振り返りは時間を掛けて行いました。最終日に向けて、しっかりと睡眠を取りましょう。おやすみなさい。



四日目： スキー講習最終日の朝は、メンバーの紛失物が見つからないという出来事から始まりました。全員で探し無事に見つかり解決しましたが、この出来事を通して、スキー講習の場以外でも『物を大切にすること』の重要性を皆さんが感じてくれていればと思います。スキー講習では、前日からクラス変更を行い、最後の講習に取り組みました。天気が良かったこともあり、これまで滑走していないコースに挑戦するクラスも見られました。全員がリフトを使って自分の力で滑る事が出来るようになり、三日間で大いに成長されたと思います。午後の講習の最後は、恒例の“全員滑走”で締めくくりました。それぞれに、三日間の思いを巡らせながら滑りきったのではないかと思います。講習終了後は、エスカルプラザに向かい、グループごとにお土産を購入しました。何をかうか迷い、お店の中を往復したり、何度も計算し直したり、ここでも一生懸命なメンバーの様子が伺えました。民宿に戻り、最後の夕食を済ませた後は、出発に向けて準備です。出発前には、みんなで用意した色紙を「武田館」の方にお渡ししました。三日間お世話になった“けんちゃん”にもお礼を伝え、白馬を後にします。また来年、帰ってきます。



五日目： 早朝六時、関西に到着しました。昨夜はバスの中でもみんなぐっすりとお寝しておられ、一瞬で関西に帰ってきたように感じます。それぞれの解散場所で挨拶をし、お別れとなりました。来年の春や冬のスキーすく〜るで、またみんなと一緒に成長出来ることを楽しみにしています。その日まで、まったねえ〜!



<キャンプ総括>

今回の“スキーすく〜る②”では、参加者の学年が幅広く、また、これまでの経験者、未経験者ともにおられる活動となりました。経験のあるメンバーは自ら進んで動き、未経験のメンバーは必死に食らいつこうとされる様子が見られ、互いに刺激を与え合っているように感じました。これはスキー講習だけでなく、生活面にも現れていたと思います。毎年繰り返し行われる“スキーすく〜る”だからこそ、こうしたメンバー同士の様子が見られ、スキーの上達だけではなく、生活面での成長にもなっているように感じました。スキー講習では【周りを見る余裕を持つ】ことがレベルを上げることに繋がります。ぜひ、今後“スキーすく〜る”に参加される際には、スキー中も生活面でも、周りをよく見て行動することを通して、更にも上のクラスでの滑走を目指して欲しいと思います。また、参加者の皆さんが自ら吸収してきた経験を次へと繋げ、今後の“スキーすく〜る”を作っていく一員になっていただければと思います。

(西中 透子)